

プレゼンター

工学研究科 教授

松原 厚

情報学研究科 特定准教授

大島 裕明

デザイン学ユニット 特定教授

川上 浩司

モデレータ

越前屋 俵太

# からマール& イヤガール

## MULTI-ASPECT THINKINGの勧め

京都大学デザイン学ユニットが主催するワークショップ  
「デザインのチカラ」。

未だ単独の学問領域では解決されていない難問に  
複数領域から立ち向かいます。

第1回目に提出された「生ごみカラス問題」の解決法、  
これの検証結果が報告されます。

カラスを寄せ付けない機械(工学研究科)  
ディープラーニングで一般カラス認識(情報学研究科)

この二つに第1回目の心理学の知見を加えて、  
統合的な解決法を案出するデザインワークも実施。

弁別性  
アハ体験、  
ドローン、Yahoo!  
パブロフの犬、空間  
義太夫、数千枚のカラス画像、数千枚の  
カラス画像、瞑想、シグナル、一般物体

# デザインのチカラVol.2

DESIGN SCHOOL  
KYOTO UNIVERSITY

主催：京都大学デザインスクール  
協賛：デザインイノベーションコンソーシアム

2016年11月27日(SUN)

開始：14:00～17:00(受付：13:00～) / 定員30名 / 参加費：無料

※お申込みは右記URLまたはQRコードより <http://peatix.com/event/210647/>

会場：京都大学(吉田キャンパス)デザイン学ユニット・デザインファブリケーション拠点

※アクセスの詳細は右記URLまたはQRコードより <http://www.design.kyoto-u.ac.jp/access/>

対象：デザイン学履修生、デザインイノベーションコンソーシアム会員、その他

お申込み



アクセス

